

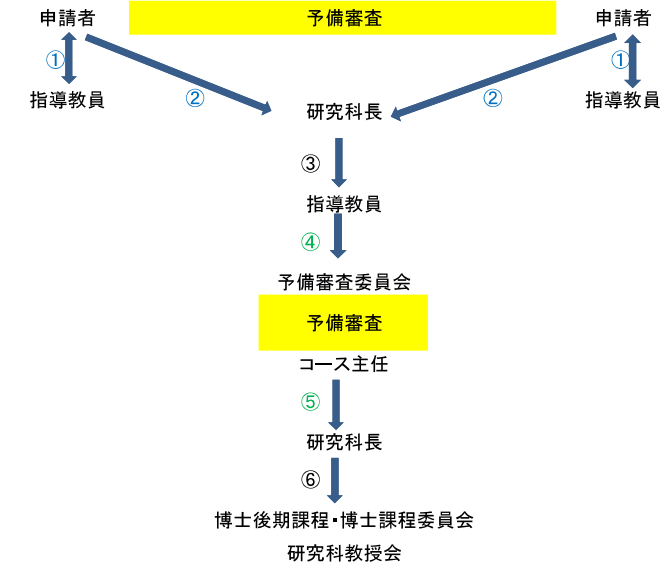
## **VIII 学位申請論文の提出方法**

### **博 士 後 期 課 程**

**長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科**

3月授与の場合  
10月18日～10月31日

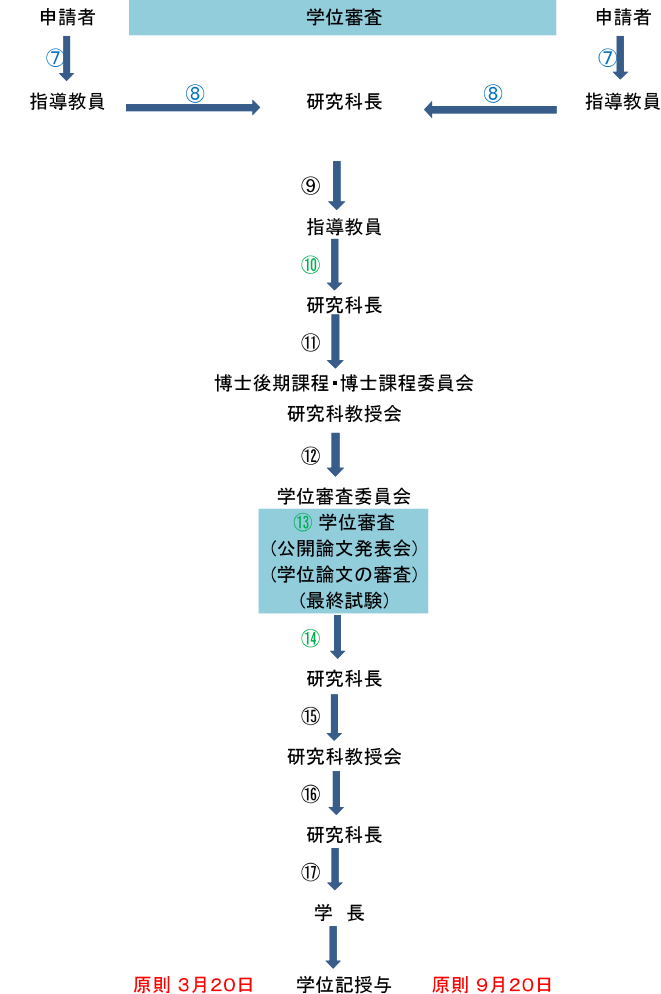
9月授与の場合  
5月18日～5月31日



- ①申請者は、学位申請に当たって指導教員の確認を得る
- ②申請者は、予備審査願・論文・論文目録・論文内容の要旨及び参考論文を提出（提出先及び部数は、学務課学務班に1部、指導教員に予備審査委員の人数分）
- ③研究科長は、指導教員に申請者ごとの予備審査委員会を設置させる
- ④指導教員は、予備審査委員会委員名簿を学務課学務班に提出すると共に予備審査委員会を開催する
- ⑤予備審査委員会（指導教員）は、予備審査の結果をコース主任を経て予備審査報告書と共に、予備審査の結果の要旨を研究科長に報告する
- ⑥研究科長は、予備審査報告書に基づき学位申請論文の受理と学位審査委員会の設置について、博士後期課程・博士課程委員会及び研究科教授会に諮る

12月1日～12月7日

7月1日～7月7日

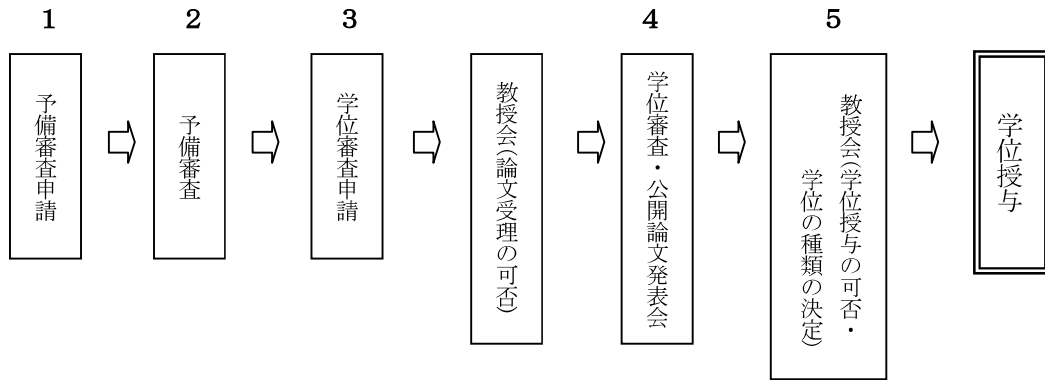


- ⑦予備審査を終了した者は、指導教員を経て
- ⑧研究科長に学位審査の申請を行う
- 申請者は、学位審査願・論文・論文目録・論文内容の要旨及び参考論文を提出（提出先及び部数は、学務課学務班に1部、指導教員に学位審査委員の人数分）
- ⑨研究科長は、指導教員に学位審査委員会委員名簿を提出させる
- ⑩指導教員は、学位審査委員会委員名簿を研究科長へ提出する（提出先は学務課学務班）
- ⑪研究科長は、学位申請論文の受理及び学位審査委員会の設置について博士後期課程・博士課程委員会及び研究科教授会に諮る
- ⑫研究科教授会は、学位審査委員会に学位審査のための公開論文発表会の開催と学位論文の審査及び最終試験を実施させる
- ⑬学位審査委員会は、公開論文発表会、論文審査及び最終試験を実施する
- ⑭学位審査委員会（主査）は、研究科長に論文審査の結果の要旨及び最終試験の結果の要旨を提出する（提出先は学務課学務班）
- ⑮研究科長は、学位審査の結果に基づき課程修了の認定について研究科教授会に付議する
- ⑯研究科教授会は、課程修了（学位授与）の可否について決定する
- ⑰研究科長は、教授会の議決の結果を学長に報告する

※学位審査については、毎年度日程表をHPに掲載するのでこれに従うこと  
※学位審査に必要な書類はHPからダウンロードすること

## I 学位審査の手続き（概要）

（学位審査の流れ）



### 1 予備審査申請

下記の書類を期日までに提出する。

提出書類	提出先及び部数		備考
	指導教員	学務課学務班	
予備審査願（別紙様式第1号）	委員数分	1	HPより様式をダウンロード。押印のうえ提出
予備審査用論文	委員数分	1	和文又は英文・A4用紙・横書（草稿可）
論文目録（別紙様式第2号）※	委員数分	1	HPより様式をダウンロード。押印のうえ提出
論文内容の要旨（書式1）※	委員数分	1	和文の場合は2000字以内、英文の場合はA4用紙2枚以内（作成要領は29ページ参照）
参考論文	委員数分	1	目録に記載したものを提出
承諾書（書式2）	委員数分	1	審査付論文が共著論文の場合は、共著者全員の承諾書を提出する（指導教員への提出は、本紙の写しを必要部数揃えて提出で可）

※「論文目録」「論文内容の要旨」は学務課学務班へ電子データも提出すること。

### 2 予備審査

学位論文の適合性、学位に付記する専攻分野の名称等についての予備審査が行われ、学位審査の受理の可否が検討される。

コース主任は指導教員と協議の上、予備審査出願者毎に予備審査委員会を設置（3人以上（指導教員及び指導教員となりうる教員2人以上（うち1人以上は教授とする。)), 他の研究科の教員又は他の大学院若しくは研究所等の教員等追加可能）する。

なお、指導教員は予備審査後、予備審査報告書（別紙様式第3号）及び論文審査の結果の要旨（別紙様式第4号）を、コース主任を経て（学務課学務班へ）提出する。

### 3 学位審査申請

予備審査終了後、下記の書類を期日までに提出する。

提出書類	提出先及び部数		備考
	指導教員	学務課学務班	
学位論文審査願(別記様式第2号)	委員数分	1	HPより様式をダウンロード。押印のうえ提出
学位申請論文※	委員数分	1	和文又は英文・A4用紙・横書
論文目録(別記様式第3号)	委員数分	1	HPより様式をダウンロード。押印のうえ提出
論文内容の要旨(書式1)※	委員数分	1	和文の場合は2000字以内、英文の場合はA4用紙2枚以内(作成要領は29ページ参照)
参考論文※	委員数分	1	目録に記載したものを提出
承諾書(書式2)※	委員数分	1	審査付論文が共著論文の場合は、共著者全員の承諾書を提出する(指導教員への提出は、本紙の写しを必要部数揃えて提出可)

※予備審査から変更のあった書類のみ提出する。「論文目録」「論文内容の要旨」は学務課学務班へ電子データも提出)

### 4 学位審査

予備審査の結果報告を受け、教授会が学位審査に受理すべきものと決定した論文について、学位論文としての適合性、学位に付記する専攻分野の名称等が審査されるとともに、申請者は公開論文発表会で論文の発表を行う。その後、論文を中心として、これに関連のある科目について最終試験が行われる。

学位審査委員会を設置{3人以上(主査1人及び副査2人以上の選出:指導教員又は副指導教員及び指導教員となりうる教員)、他の研究科の教員又は他の大学院若しくは研究所等の教員等追加可能}する。

学位審査委員会による学位論文審査及び公開論文発表会を実施する。その後、最終試験(日本語又は英語による口頭又は筆答)を行う。

学位審査委員会による論文審査の結果の要旨(別記様式第5号)、最終試験の結果の要旨(別記様式第6号)を(学務課学務班へ)提出する。

### 5 教授会による可否判定及び学位の種類決定

教授会は、論文審査及び最終試験の結果の報告に基づき、課程修了の可否決定を行う。申請者は教授会閲覧用の下記書類を提出期限(学務課学務班から別途通知)までに学務課学務班へ提出する。下記書類は、課程修了のための教授会開催前(約1週間)に閲覧公開する。

提出書類	提出先及び部数		備考
	学務課学務班		
学位申請論文	1		和文又は英文・A4用紙・横書
論文目録(別記様式第3号)	1		HPより様式をダウンロード。押印のうえ提出
論文内容の要旨	1		和文の場合は2000字以内、英文の場合はA4用紙2枚以内(作成要領は29ページ参照)
参考論文	1		目録に記載したものを提出

## 6 学位論文等の提出

教授会で学位の授与が決定した場合、論文をインターネットの利用により公表するための電子ファイルを提出する。

## 7 学位記授与の期日

標準修業年限以内の合格：学期末（原則3月20日・9月20日、当該日が週休日・祝日の場合は、前日または前々日とする。）

早期修了及び標準修業年限を超えて在学した者の合格：合格した日

## II 提出書類の作成方法

### 1 予備審査願，学位論文審査願

作成要領は省略する。（別紙様式第1号：予備審査用，別記様式第2号：学位審査用）

### 2 予備審査用論文，学位申請論文

- (1) 和文又は英文で作成する。
- (2) A4版（210×297 mm），縦位置，横書，左綴じとする。
- (3) 表紙には，別図のように論文題名などを記載する。ファイルに綴じるときは，ファイルの表紙にも同様の記載を行う。作成年月は，論文提出時（予備審査及び学位審査申請時）の年月とする。
- (4) 表紙の次に目次を付す。
- (5) 学位論文はワードプロセッサで印字する。  
上記のようにして作成した原稿を，白色上質紙にコピーしたものでも差し支えない。

(別 図)

※背表紙にも論文題名を付けること。（英文は横書きでよい）

作→ 成 年 月	論 文 題 名
	× × 年 × 月
	氏
	名

論 文 題 名

(西曆)  
××年×月

長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科

氏 名

### 3 論文目録 (別紙様式第2号：予備審査用，別記様式第3号：学位審査用)

- (1) 論文目録は別紙様式第2号，別記様式第3号を用いて作成し，参考論文の前に添付する。
- (2) 学位論文題名は，本論文が和文の時は英文名を，本論文が英文の時は和文名を並記する。
- (3) 参考論文等とは，学位論文に関係の深いものでその研究の基礎となった論文等をいう。なお，講演要旨は論文に含まないものとする。

#### 学位論文の印刷公表欄：

- (4) 公表論文欄には学位論文の内容を含む既公表論文および掲載が決定された論文を挙げる。
- (5) 学位審査までに掲載が決定した論文は印刷公表欄に挙げ，掲載決定証明書(写)を論文目録に添付する。
- (6) 印刷公表予定論文欄には，投稿中の論文を挙げ，受領証明書(写)を論文目録に添付する。
- (7) 学位論文の印刷公表(予定)欄にあげた論文のうち，\*を付した論文においては，共著者がある場合は承諾書【書式2】を添付する。共著者の中に指導教員あるいは副指導教員が含まれている論文においては全ての共著者の承諾書は不要とすることができる。
- (8) 記載された全ての論文，プロシーディング等のうち，審査制度の確立した学術雑誌に掲載された論文には論文番号の頭に\*印をつける。
- (9) いずれの論文においても学位論文のどの章・節に該当するかを記載する。

#### 学位論文の基礎となる論文欄：

- (10) 学位論文の基礎となる論文欄には，学位論文の内容に含まれないがその研究に関係が深く，基礎となった論文を挙げる。

#### その他の論文欄：

- (11) その他の論文とは，学位論文の印刷公表(予定)，学位論文の基礎となる論文に該当しない論文，プロシーディングを挙げる。

#### <書き方>

- (1) 論文は，全ての著者名(論文に書かれている順番；学位論文申請者に下線をつける。)，題目，雑誌名，巻(号)，頁(最初と終わりの頁)，発行年月の順に書く。  
巻数は太文字とする。
- (2) 審査制度の確立した学術雑誌に掲載された論文には論文番号の頭に\*印をつけること。

(記入例) \* (1) 長崎一郎， 諫早二郎， 佐世保三郎； 21世紀の長崎大学のあるべき姿の一考察，長崎学会誌，10(3)，pp. 3-10 (2012. 12) (第2章，第3節)

#### 4 承諾書

承諾書は【書式2】を用いて学位論文の印刷公表（予定）欄に挙げた論文のうち、\*を付した論文についてのみ作成する。

(注) 共著者の中に指導教員あるいは副指導教員が含まれている論文においては、全ての共著者の承諾書は不要とすることができる。

#### <書き方>

(1) 天 25mm, 地 25mm, 左 25mm, 右 25mm の余白を取る。

(2) 論文は、全ての著者名（論文に書かれている順番；承諾する共同研究者名に下線をつける。）、題目、雑誌名、巻（号）、頁（最初と終わりの頁）、発行年 の順に書く。巻数は太文字とする。

(記入例) (1) 長崎一郎, 諫早二郎, 佐世保三郎；21世紀の長崎大学のあるべき姿の一考察, 長崎学会誌, 10(3), pp. 3-10 (2012. 12)

#### 5 参考論文の提出

(1) 論文目録の参考論文等の項目に挙げた全ての論文の別刷り, あるいはコピーを別冊として提出する。

(2) 掲載が決定された論文, 投稿中の論文については, 校正刷りのコピーあるいは投稿原稿を提出する。

#### <作成法>

(1) 別冊の参考論文にはA4版で表紙をつけ, 縦位置, 横書き, 左綴じとする。

表紙には 「参考論文」, 学位論文題名, 予備審査及び本審査提出時の年月, 研究科名, 氏名を書く。(別図参照)

(2) 論文目録を別刷りの前におく。

(別 図)

参考論文
「学位論文題名」
××年×月（西暦）
長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科
氏 名

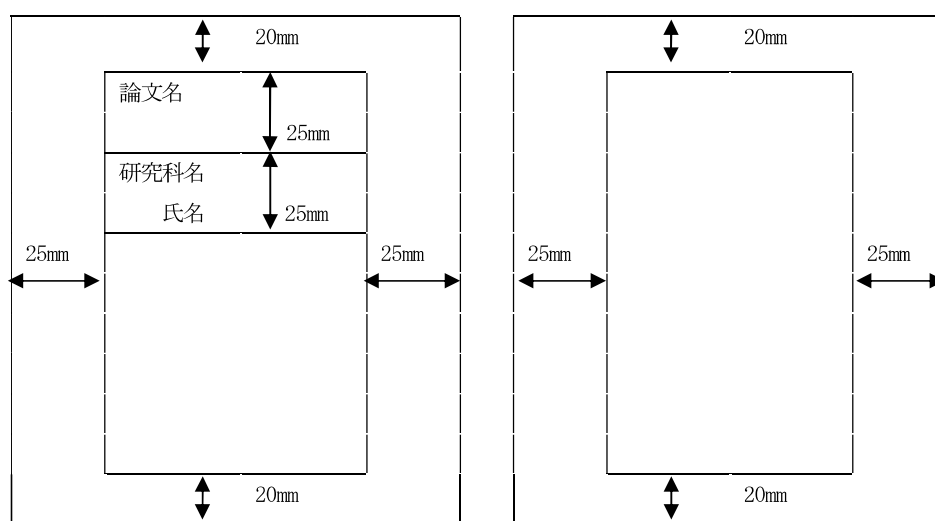
## 6 論文内容の要旨

(1) 論文内容の要旨は【書式1】により和文又は英文で作成する。

### <書き方>

- (1) A4版用紙2枚とし、天 20mm、地 20mm、左 25mm、右 25mm、の余白を取る。
- (2) 論文題名欄、氏名欄として各25mmとり、研究科名（長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科）と氏名を14ポイントで書く。
- (3) 本文は11ポイントで書く。英文の場合はA4 2枚程度とする。

### 【書式1】





【書式2】

(記入例)

余白は全て 25mm とする

承諾書

長崎一郎氏提出の学位論文中、私と共同研究の下記部分については、  
長崎一郎氏の学位論文とすることを承諾いたします。

記

1 長崎一郎, 諫早二郎, 佐世保三郎  
; 「21世紀の長崎大学のあるべき姿の一考察」  
長崎学会誌, 10(3), pp. 3-10(2012.12)

平成××年××月××日

共同研究者  
諫 早 二 郎 ㊞

(別紙様式第1号)

平成 年 月 日

水産・環境科学総合研究科長 殿

平成 年 月 日入学

長崎大学大学院

水産・環境科学総合研究科

専攻

コース

氏名

Ⓜ

予 備 審 査 願

私こと、長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科博士後期課程及び博士課程（5年一貫制）の学位審査に関する申合せに基づき関係書類を添え、予備審査用論文を提出しますので審査下さるようお願いいたします。

記

予備審査用論文	1部
論文目録	1部
論文内容の要旨	1部
参考論文等	1部

(別紙様式第2号)

論 文 目 録 (予備審査用)

報告番号		氏名	㊦
<p>主 論 文</p> <p>題名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (和文名) ▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲ (英文名)</p> <p>※論文題名は、和文名・英文名を併記する</p> <p>参考論文等</p> <p>1 学位論文の印刷公表 (予定)</p> <p>1-1 印刷公表論文</p> <p>* (1) <u>長崎一郎</u>, 諫早二郎, 佐世保三郎; 21世紀の長崎大学のあるべき姿の一考察, 長崎学会誌, 10(3), pp. 3-10 (2012. 12) (第2章, 第3節)</p> <p>* (2)</p> <p>※審査制度の確立した学術雑誌に掲載された論文には論文番号の頭に*印をつける。</p> <p>1-2 印刷公表予定論文</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>2 学位論文の基礎となる論文</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>3 その他の論文</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p>			

注. 報告番号は、記入しないこと。

(別記様式第2号)

平成 年 月 日

長崎大学長 殿

平成 年 月 日入学

長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科

博士後期課程

博士課程（5年一貫制）

専攻

氏名

印

学 位 論 文 審 査 願

私こと、長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 博士後期課程修了  
博士課程（5年一貫制）修了 の

認定をいただくため、長崎大学学位規則に基づき関係書類を添え、学位論文を提出しますので審査下さるようお願いします。

記

学位論文	3部
論文目録	3部
論文内容の要旨	3部
参考論文等	3部

